十一　跟神木說的悄悄話

十一　ごとのらい

座號（　　　）姓名（　　　　　　　　）

走進深山，我遇見神木爺爺。

をくってくと、ごにった。

神木爺爺，爸爸說您已經三千多歲，剛好是我的三百倍。

ご、おさんがごはをえているって。ちょうどの。

神木爺爺，在深山中住這麼久，您會不會怕鬼？

ごは、にこんなにくんでいて、おばけはこわくないの？

在高山上站這麼久，您會不會覺得累？

いにこんなにくっていて、れないの？

神木爺爺，媽媽說您是萬樹之神，您是臺灣森林中的活寶貝。

ご、おさんがごはてのので、ののきただってってるよ。

神木爺爺，在森林中待這麼久，您當過雲豹的座椅沒？

### ご、のでこんなにくいるけど、[ウンピョウ](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%A7%E3%82%A6)があなたにけたことはある？

在森林裡活這麼久，您說帝雉和雲雀哪個比較美？

のでこんなにくきてきたけど、ミカドキジとヒバリではどっちがきれい？

走出深山，我跟神木爺爺道別。

をて、はごとおわかれをしました。